

松下幸之助記念志財団 研究助成

研究報告

(MS Word)

【氏名】

那波泰輔

【所属】(助成決定時)

一橋大学大学院

【研究題目】

戦後日本における「戦争体験」の形成と変容—日本戦没学生記念会(わだつみ会)に着目して—

【研究の目的】(400字程度)

本研究の目的は、「戦争体験」がいかに形成・変容をしていき、そうした「戦争体験」が各世代にどのように語られ継承されていったのかを、わだつみ会を通して明らかにすることである。

わだつみ会は1950年代から現在まで続いている団体であり、世代間で「戦争体験」に関して盛んに議論をされてきた団体でもある。戦友会と異なる点は、設立当初からさまざまな世代が参与した団体であることである。これによって、戦争体験者だけで「戦争体験」を語り合うだけに留まらず、「戦争体験」をどのように扱っていくかが各世代で議論された。このように、「戦争体験」に重きが置かれながら、他世代との交流が掲げられていたのはわだつみ会の特徴である。

先行研究では、おもにわだつみ会の知識人の言説や遺書集『きけわだつみのこえ』について論じられていた。ただ、わだつみ会は知識人だけではなく多種多様な市井の人びとも参加しているため、本研究では彼らの営為を捉えることで、「戦争体験」が各世代にどのように継承されていったのかを明らかにする。

【研究の内容・方法】(800字程度)

本研究は、研究方法として史資料調査とインタビュー調査、質問紙調査をおこなった。

史資料調査では公刊されている資料だけではなく、団体や個人が所有している資料も対象とした。個人が所有している資料では、一部にしか配布されていないものや、各々が当時の状況を記録した資料などがある。これによって、公刊資料ではわからなかったものも把握していくことができる。

インタビュー調査では、資料では記述されなかったことも掘り起こしていった。インタビュー調査は対面インタビューとオンラインインタビューでおこなった。新型コロナウイルスの感染が拡大した際にはインタビュー調査はオンラインインタビューを中心とした。

質問紙調査では、わだつみのこえ記念館の来館者に質問紙を配布し調査をおこなった。これによって、現在において、わだつみ会がどういった団体として捉えられているかを分析した。

史資料調査において、資料整理と団体や個人から提供された資料のデータ化を進めた。資料整理では、おもに紙媒体の資料を整理し資料目録を作成した。これにより、どんな資料が所有されているかだけでなく、各団体から送られてきた機関誌からどういった団体とネットワークを持っていたのかも分析できた。

データ化に関しては、紙媒体の資料はPDF等の媒体へとデータ化をおこない閲覧や共有、保存が簡易にできるようにした。また、フロッピーディスク等の現在ではあまり使用されていない機器で保存され、閲覧が難しくなっている資料は、PDFやWORD等の閲覧・共有が容易な媒体へと変換するデータ化をした。ただ、資料の損傷等によりデータ化が難しい資料や所有者の許可がとれなかった資料は、データ化はおこなわず複写等をおこなった。

以上の史資料調査やインタビュー調査等から得られたデータをもとにして、分析を進め論文執筆をおこなった。研究成果として、2022年6月に『大原社会問題研究所雑誌』(764号)に、「わだつみ会における加害者性の主題化の過程—1988年の規約改正に着目して」を公表した。

【結論・考察】（４００字程度）

本研究では、わだつみ会を対象に各世代における「戦争体験」の語りと継承を分析した。

まず、史資料調査やインタビュー調査、質問紙調査によって、わだつみ会の内部構造を考察した。これによって、わだつみ会は各時代において、団体としての方向性を変容させていったことを把握することができた。

次に、個人が所有していた資料のデータ化により、わだつみ会と他団体とのネットワークを確認した。他団体とのネットワークを追っていくことで、わだつみ会に参加していた人びとがわだつみ会での交流をどう展開させていったのかを確認できた。とくに、わだつみ会員も設立に携わったアジア民衆法廷準備会とのネットワークも確認でき、わだつみ会の戦争責任への意識がどのように展開されていったのかを明らかにすることができた。

そして、現在において、どのような形でわだつみ会が「戦争体験」の継承に関わっているかを分析した。わだつみ会の関連組織のわだつみのこえ記念館で来館者に質問紙調査をおこなった。質問紙調査の結果、現在において「戦争体験」の継承が、体験記等を読むことよりは、戦時中に存在した遺書などの現物を見ることによっておこなわれる傾向があることがわかった。

これらの研究成果をふまえて、わだつみ会の内外のネットワークを分析することで、戦後日本における「戦争体験」の形成・変容の一端を明らかにすることができた。